

病 理 部

1 構 成 員

	平成20年3月31日現在
教授	0人
准教授	1人
講師（うち病院籍）	0人（0人）
助教（うち病院籍）	1人（1人）
助手（うち病院籍）	0人（0人）
特任教員（特任教授，特任准教授，特任助教を含む）	0人
医員	1人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生（うち他講座から）	0人（0人）
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員（教務職員を含む）	4人
その他（技術補佐員等）	1人
合 計	8人

2 教員の異動状況

馬場 聡（部長・准教授）（H18. 6. 1～H19. 3. 31部長・助教授；H19. 4. 1～現職）

土田 孝（助教）（H19. 4. 1～現職）

3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成19年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	3編（0編）
そのインパクトファクターの合計	6.67
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	0編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0編（0編）
そのインパクトファクターの合計	0
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0編（0編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	7編（6編）
そのインパクトファクターの合計	1.66

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し，共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Ota S, Suzuki S, Sakaguchi T, Baba S, Mitsuoka H, Nakamura S, Konno H: Significance of morphological alteration by portal vein branch ligation in endotoxin-induced liver injury after partial hepatectomy. *Liver Int.* 27(8):1076-85, 2007.
2. Higashi Y, Suzuki S, Sakaguchi T, Nakamura T, Baba S, Reinecker HC, Nakamura S, Konno H: Loss of claudin-1 expression correlates with malignancy of hepatocellular carcinoma. *J Surg Res.* 139(1): 68-76, 2007. Epub Jan 30, 2007.

インパクトファクターの小計 [4.395]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Nakamura T, Higashi S, Tomoda K, Tsukano M, Baba S: Efficacy of etanercept in patients with AA amyloidosis secondary to rheumatoid arthritis. *Clin Exp Rheumatol.* 25(4): 518-522, 2007. Erratum in: *Clin Exp Rheumatol.* 25(5): 798, 2007.

インパクトファクターの小計 [2.270]

(5) 症例報告

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Inaba K, Suzuki S, Sakaguchi T, Kobayashi Y, Takehara Y, Miura K, Baba S, Nakamura S, Konno H: Double primary liver cancer (intrahepatic cholangiocarcinoma and hepatocellular carcinoma) in a patient with hepatitis C virus-related cirrhosis. *J Hepatobiliary Pancreat Surg.* 14(2):204-209, 2007. Epub Mar 27, 2007.
2. 鈴木淳司, 鈴木昌八, 坂口孝宣, 福本和彦, 太田茂安, 稲葉圭介, 竹原康雄, 馬場 聡, 菊山正隆, 今野弘之: 右肝管内粘液産生胆管癌の1切除例. *日本消化器外科学会雑誌* 41(2): 206-211, 2008.

インパクトファクターの小計 [1.658]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 石堂 統, 有吉啓子, 加藤智行, 馬場 聡: 喉頭に発生した神経内分泌腫瘍（非定型的カルチノイド腫瘍）の1例. *袋井市立袋井市民病院研究誌* 16(1): 34-37, 2007.
2. 高見澤潤一, 鈴木秀昭, 久世真悟, 柴原弘明, 大畑賀央, 服部正興, 馬場 聡: しめつけ様門脈狭窄像を認めたが門脈浸潤を認めなかった腭頭部癌の1例. *袋井市立袋井市民病院研究誌* 16(1): 26-29, 2007.
3. 柴原弘明, 前田 豊, 高見澤潤一, 服部正興, 大畑賀央, 久世真悟, 馬場 聡, 鈴木秀昭: 腹部超音波検査での胆泥増大を契機に発見された早期胆嚢癌の1例. *袋井市立袋井市民病院研究誌* 16(1): 21-25, 2007.
4. 柴原弘明, 加藤智行, 有吉啓子, 石堂 統, 田中国彦, 馬場 聡, 鈴木秀昭: 腭粘液性嚢胞腺腫（Mucinous Cystic Adenoma: MCA）の1例 免疫組織学的所見を中心に. *袋井市立袋井市民病院研究誌* 16(1): 15-20, 2007.

5. 岩本 諭, 菊山正隆, 松林祐司, 稲葉圭介, 鈴木昌八, 中村 達, 馬場 聡: 【IPMNと通常型膵管癌の合併は稀か?】 副膵管領域に進展する上皮内癌を合併した膵頭部分枝型IPMNの1例. 消化器画像 9(4): 357-362, 2007.

インパクトファクターの小計 [0.00]

4 特許等の出願状況

	平成19年度
特許取得数 (出願中含む)	0件

5 医学研究費取得状況

	平成19年度
(1) 文部科学省科学研究費	0件 (0万円)
(2) 厚生科学研究費	0件 (0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 (0万円)
(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	0件 (0万円)
(6) 奨学寄附金その他 (民間より)	0件 (0万円)

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	0件
(2) シンポジウム発表数	0件	0件
(3) 学会座長回数	0件	0件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	1件
(6) 一般演題発表数	0件	

- (3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

馬場 聡 日本病理学会学術評議員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数 (レフリー数は除く)	0件	0件

9 共同研究の実施状況

	平成19年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成19年度
産学共同研究	0件